

第7回

日本学士院

学びのススメ

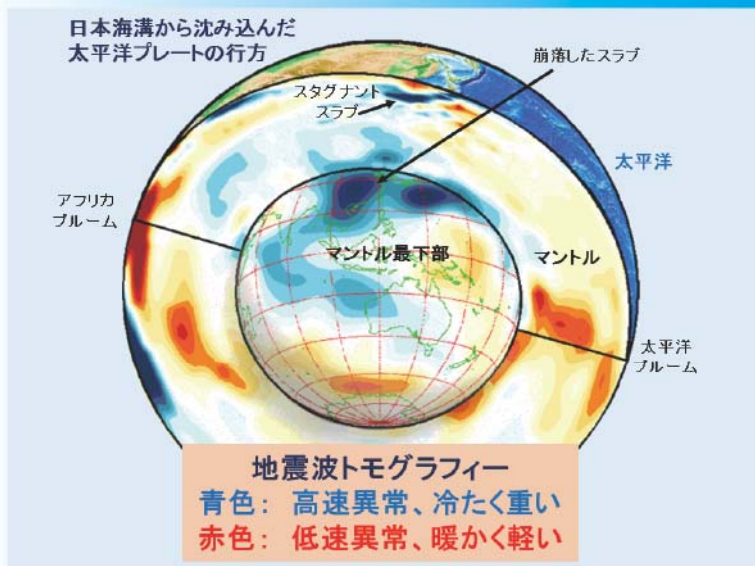
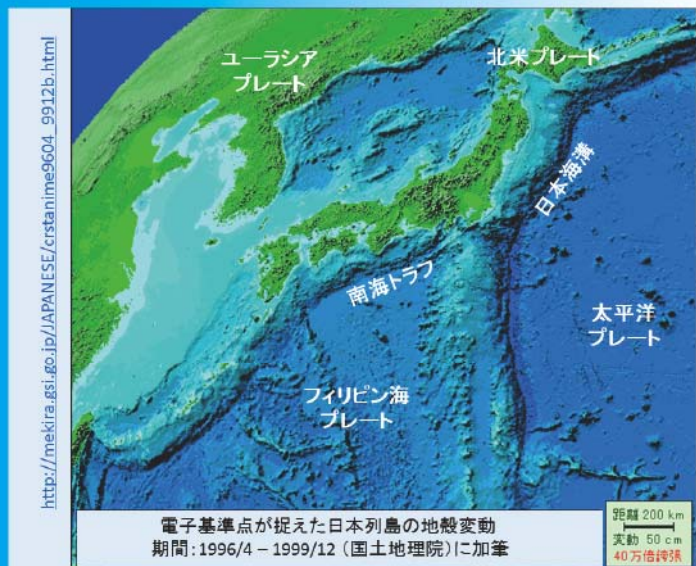


講演テーマ

「地球の中を覗き込む

—地震波でプレートの行方を追跡する—

対象：中学生・高校生・一般



講師

ふか お よし お
深尾良夫

日本学士院会員
海洋研究開発機構特任上席研究員
東京大学名誉教授

開催日 平成26年12月13日(土)

時間 午後2時30分～
(質疑を含めて1時間程度を予定)

場所 日本学士院会館(東京・上野公園内)

行って、見て、
発見!



聴講無料
事前申込制
(先着150名)

詳しくは裏面を
ご覧ください。

◆後援：台東区・台東区教育委員会 ◆協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会

◆お問合せ：日本学士院事務局 〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32

TEL:03-3822-2101 FAX:03-3822-2105 e-mail:kouenkai2@japan-acad.go.jp



テーマ
地球の中を覗き込む
 —地震波でプレートの行方を追跡する—

【講師】

ふか お よし お
深尾良夫



日本学士院会員、海洋研究開発機構特任上席研究員、
 東京大学名誉教授

表の左側の図は日本列島周辺のプレート配置図です。日本海溝を境目として太平洋プレートが北米プレートの下に沈み込んでいます。2011年の東北沖巨大地震は、こうした沈み込みがときに劇的に起こることを示しました。しかし、沈み込んで地表からは姿を消したプレートはどこへ行くのでしょうか？プレート運動が繰り広げられる地表付近の世界と、より深部の世界とはどのように繋がっているのでしょうか？こうした疑問に答えるために地震波を使って地球の中を覗いてみましょう。次に右側の図は地震波トモグラフィと呼ばれる技術を使って得られた日本列島を横切る地球断面です。皆さんも、左側と右側の図とを見比べて日本海溝から沈み込んだ太平洋プレートの行方を想像してみてください。

【日本学士院及び講師について】

日本学士院（にっぽんがくしん）は、文部科学省に設置された、学術の発展に寄与するため必要な事業を行うことを目的とした機関です。本院は、明治12年に福沢諭吉を初代会長として創設された「東京学士会院」を前身とし130年以上の歴史を有しています。

各分野で高い業績を挙げた研究者が会員として所属していますが、本院ではその研究成果を社会に還元することも学術研究者の一つの使命だと考えています。また、科学離れが叫ばれる昨今、その傾向に歯止めをかけ、将来の日本の担い手となる子どもたちに、今一度科学に対する興味を持ってもらう一助となればと思い本講演会を企画いたしました。

今回講師を務める深尾良夫会員は、マントルのダイナミクスに関する地震学的研究で世界的に有名な研究者です。近年は「スタグナントスラブの発見」及び「常時地球自由振動の発見」で著しい成果を挙げています。更に深尾氏らは、この現象に大気や海洋が深く関わっていることを示し励起源モデルを提案するなど、固体地球と大気/海洋とを一つのシステムとみなす地震学の発展に寄与しています。主な著書に『地震・プレート・陸と海—地学入門—』（岩波ジュニア新書）があります。

一つの分野を究めた研究者の話聞くことは必ず若い方たちの糧となることと思います。肩肘を張らずに聞ける内容となっておりますので、寒さが厳しい折ではございますが、本院へ足をお運びいただければ幸いです。

◎事前にお申込が必要です（聴講無料・定員150名・先着順）

お申込はメール・FAX・往復ハガキのいずれかでお送りください。「学びのススメ聴講希望」と明記の上、住所・聴講者氏名（フリガナ）・電話番号・メールアドレス・中学生/高校生/一般の別を記載してください。後日、本院よりお返事を差し上げます。

※本院HP (<http://www.japan-acad.go.jp/>) からもお申込できます。

メール kouenkai2@japan-acad.go.jp

FAX 03-3822-2105

往復ハガキ

〒110-0007
 東京都台東区上野公園7-32
 日本学士院 事務局

日本学士院 事務局

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32 TEL:03-3822-2101



- 会場 ・ JR上野駅公園口から徒歩4分
- 案内図 ・ 京成上野駅から徒歩8分
- 案内図 ・ 東京メトロ上野駅から徒歩8分
- ※車での来場はご遠慮ください。